

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2026年(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

- (1) サブトラックは、トラック競技、跳躍競技、砲丸投、やり投の練習のみに利用する。
- (2) 棒高跳の練習は本競技場で行う。
- (3) 円盤投、ハンマー投の練習は、原則として競技日の球技場のみとし、競技役員の指示に従い、監督者をつけ安全に注意して行う。

3 招集について

- (1) 招集所は100mスタート地点横の器具庫内に設ける。ただし、棒高跳はバックピットに設ける。
- (2) 各種目の招集完了時刻は次の通りとする(時間に遅れた者は棄権とみなす)。

1500m予選	1組	競技開始15分前
	2組	競技開始10分前
	3組	競技開始時刻
4×100mR予選 4×400mR予選	1組	競技開始20分前
	2組	競技開始15分前
	3組	競技開始10分前
	4組～5組	競技開始5分前
上記以外のトラック種目の予選	1組～4組	競技開始15分前
	5組～8組	競技開始5分前
全てのトラック種目の準決勝・決勝	—	競技開始15分前
フィールド 跳躍種目	—	競技開始30分前
フィールド 投擲種目	—	競技開始40分前

(3) 混成競技においては各日の第1種目は上記の規定で行うが、第2種目からは各種目の競技を行う場所に20分前には集合すること。

(4) 招集の方法については次の通りである。

- ① 招集開始時刻(招集完了時刻10分前)に招集所で競技者系の点呼を受ける。その際アスリートビブス・スパイク・商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰レーンナンバーカードを受け取る。
- ② 招集は必ず本人が行うこと。但し、出場する競技の時間が重なる場合には、必ず「多種目同時出場届出用紙」を招集所に提出し、当該競技の審判にもその旨を申し出て、指示に従うこと。
- ③ トラック競技において、棄権する場合は招集所に棄権届を提出する(フィールド種目は不要)。
- ④ 招集時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。
- ⑤ 携帯電話等、競技規則に表記されている機器は競技場内に持ち込むことはできない。
- ⑥ 上記の用紙、及び「リレーオーダー用紙」は、招集所で配布する。

4 アスリートビブスについて

県の登録番号とし、各自で規格にあったものを作成、ユニフォームの上部2カ所、胸背部へ確実につけること。但し、跳躍競技の競技者は片方だけでよい。

5 競技場への入退場について

- (1) 全ての競技者の競技場への入場は、招集所のみからとし、他のゲートからの入場を禁止する。
- (2) 競技終了後は、競技役員の指示に従って退場する。
- (3) 第1位から第8位までの入賞者は、入賞者控え所(入口ホール)に行く。

6 走路順およびフィールド競技の競技順序について

- (1) 各競技ともプログラムに記載されたレーン順及び試技順とする。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝のレーンはコンピュータの抽選による。

7 競技について

- (1) トラック競技について

- ①トラック競技は、全て写真判定装置を使う。
 - ②短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走る。
- (2)フィールド競技について
- ①競技場内での練習は、全て競技役員への指示に従う。
 - ②跳躍、やり投競技者は助走路の外側(走高跳は助走路内)にマーカーを2個まで置くことができる。サークルから行う投てき競技は、マーカーを1つだけ使用することができる。
 - ③棒高跳の競技者は、「支柱移動申請書」をピットで受け取り、支柱の位置を記入し、公式練習が終わり次第、棒高跳び審判に提出すること。その位置を変更したいときには審判員に申し出ること。
 - ④走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、優勝者が決まるまで次の通りとする。但し、気象状況や審判長の判断で変更する場合がある。
 - ⑤競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外はすべて主催者が用意したものを使用すること。

【走高跳】

種目	練習	最初	次からのバーの上げ方			
男子 走高跳	1 m 6 5	1 m 7 0	7 5	...	9 5	以後は3 cmずつ
女子 走高跳	1 m 3 5	1 m 4 0	4 5	5 0	5 5	以後は3 cmずつ
十種 走高跳	1 m 4 5	1 m 5 0	5 5	...	7 0	以後は3 cmずつ
七種 走高跳	1 m 1 5	1 m 2 0	2 5	...	5 0	以後は3 cmずつ

【棒高跳】

種目	練習	最初	次からのバーの上げ方			
男子 棒高跳	2 m 6 0	2 m 8 0	3 m 0 0	...	6 0	以後1 0 cmずつ
女子 棒高跳	2 m 0 0	2 m 0 0	2 0	4 0	5 0	以後1 0 cmずつ
十種 棒高跳	2 m 2 0	2 m 4 0	6 0	...	3 m 2 0	以後1 0 cmずつ

- ⑤第1位が同成績の場合の順位決定のバーの上げ下げは次の通りとする。
 走高跳・・・2 cmずつ 棒高跳・・・5 cmずつ (6位決定も同じ)

8 リレー競技について

予選・決勝のオーダー用紙は、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。

9 長距離・競歩競技について

競技運営上、制限時間を設ける。打ち切りの時間は次の通りとし、制限時間を超えたら次の周回に進むことができない。

種目	制限時間	種目	制限時間
男子 5 0 0 0 m	1 6 分 3 0 秒	女子 5 0 0 0 m	1 9 分 0 0 秒
男子 1 0 0 0 0 m	3 4 分 0 0 秒	女子 1 0 0 0 0 m	3 9 分 0 0 秒
男子 3 0 0 0 m S C	1 0 分 3 0 秒	女子 3 0 0 0 m S C	1 3 分 3 0 秒
男子 5 0 0 0 m W	3 0 分 0 0 秒	女子 5 0 0 0 m W	3 5 分 0 0 秒

10 表彰について

1位の競技者(チーム)に選手権章、8位までの入賞者(チーム)に賞状を授与する。表彰は競技終了後、直ちに行う。また、トラック優秀選手に饗場杯、フィールド優秀選手に飯室杯を授与する。そして、大会を通して最も優秀な選手に会長杯を授与する。

11 抗議・上訴について

- (1)競技中に起きた競技者の行為又は順位に関する抗議は、結果の正式発表後30分以内(次のラウンドがある種目は15分以内)に、TICに口頭で申し出る。
- (2)審判長の裁定に不服がある場合は、その種目の結果の正式発表後30分以内(次のラウンドがある場合は15分以内)に担当総務員を通して、 Jury に預託金20,000円を添えて文書で上告する。この預託金は、抗議が却下された場合は返却しない。「上訴申立書」は担当総務員より受理すること。

12 競技用靴について (TR5.2および競技用靴に関する規定を参照)

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とする。但し、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。その他、競技場管理者によって認められないものは使用できない。
- (2) シューズに関する規程についてはTR5. および競技用靴に関する規定の通りとする。

種目	最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目全て	20mm	サークルを使用する投擲種目は対象外
トラック種目全て	20mm	競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じ40mm。

1.3 その他

- (1) 本大会は山梨県の国スポ予選を兼ねており、県外登録選手(ふるさと登録選手は除く)は国スポ予選には一切関係しないことを承知の上、出場すること。
- (2) 本大会で上位6名(チーム)は、2026年度の関東陸上競技選手権大会の出場資格を得る。出場辞退者がある場合は繰り上げて出場資格を得る(混成競技と女子3000mSCは上位3名)。但し、男女とも5000m、10000m、5000mWは関東選手権の種目がないので、注意されたい。
- (3) トラック競技において招待選手等が出場したとき、CFを行う場合もある。
- (4) フィールド競技において招待選手等が出場したとき、トップ8の試技は8名を超えて行う場合もある。
- (5) 横断幕はスタンドの最上部のみ掲出を認めるが、通路をふさぐ取り付けは禁止する。また、個人名・企業名の入った横断幕は原則として禁止とする。
- (6) 写真等の撮影について、競技者を撮影する場合は以下の通りとする。
- ① T I C に撮影許可申請書を提出して許可を受け、ビブスを着用する(報道関係)。
 - ② T I C に撮影許可申請書を提出して許可を受け、撮影許可書を携帯する(一般)。
 - ③ スタジアム(トラック、フィールド)内での撮影は報道関係者のみとし、他はスタンドからの撮影とする。
 - ④ 山梨県の「公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為の防止に関する条例」に抵触する時は本部にて事情を聞く場合がある。
- (7) 商標については、「競技会における広告および展示物に関する規定」を適用する。
- (8) T I C (総合案内所)等の業務及び提出書類は以下の通りとする。

	配布書類及び業務	提出及び受付場所	提出及び受付時間
1	記録証交付	T I C	随時
2	遺失物保管	T I C	随時
3	抗議申立(口頭)	T I C	正式記録発表後15分以内(予選/準決) 決勝は30分以内
4	観戦履歴用紙	T I C	競技場退場時
5	報道受付・ビブス配布	T I C	競技場来場時
6	撮影許可受付・許可書配布	T I C	競技場来場時
7	上訴申立書(文書)	大会本部	審判長の裁定後15分以内(予選/準決) 決勝は30分以内

(9) 小瀬スポーツ公園陸上競技場 投てき用具 WA(やり) 一覧表

器具	種別	WA 認証	メーカー	品名	規格等	品番	CERTIFICA	数量	種別毎 集計
やり (Javelin)	女子用 (600g)	○	ニシ[NISHI]	ミディアムDR	50m	F465F		2	11
		○	ニシ[NISHI]	ロングDR	60m	F464F		3	
		○	ニシ[NISHI]	スーパーDR	70m	F463F	I-01-0235	3	
		○	ノルディック[NORDIC]	N X B (flex7.7)		NC774E	I-99-0016	1	
		○	ノルディック[NORDIC]	N X S (flex7.2)		NC773E	I-99-0015	1	
		○	ネメト	クラシック	75m	NC836C	I-99-0110	1	
	男子用 (800g)	○	ニシ[NISHI]	ミディアムDR	60m	F455E		4	16
		○	ニシ[NISHI]	ロングDR	70m	F454E		5	
		○	ニシ[NISHI]	スーパーDR	80m	F453E		4	
		○	ノルディック[NORDIC]	マスター800 (flex7.5)		NC765A	I-99-0013	1	
		○	ノルディック[NORDIC]	スーパーエリート800 X S		NC763B	I-99-0020	1	
		○	ネメト	クラシック	85m	NC829	I-99-0429	1	

- (10) その他必要事項は主催者が協議、判断し決定する。